



多久市議会議長
山本 茂雄

大いなる飛躍の年に

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた新年を、お迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

平成25年の輝かしい年頭にあたり、多久市議会を代表して、新年のご挨拶を申し上げます。

平成24年は、ロンドンオリンピックもあり、景気が回復かと期待しましたが、依然として厳しい時が続いています。昨年末には衆議院議員総選挙もあり、政局の動きに今後とも注目してまいります。

しかしその中で、多久市では平成24年度歳入歳出予算は、133億円を越す多久市政始まって以来の予算規模で事業推進がされています。主な事業としては、今年4月開校の小中一貫校の整備事業です。子どもたちが安心・安全で学ぶ、また学力の向上のため、小中一貫教育に伴う校舎新築、改修工事、通学バスの購入、通学路の整備等がなされています。

4月より始まる小中一貫教育が成功するよう、また子どもたちが安心・安全で学べるように議会として見守ってまいります。

また、市の定住対策の補助金制度については平成19年度より取り組んでいます。一定の成果があり、今回再延長をいたしました。人口減に歯止めをかける政策になればと期待をします。

災害は忘れてはならないものです。あの東日本大震災が発生して、約2年近くなりますが、未だ手付かずの場所もあると聞いています。一日も早い復興を願っており、その復興支援をこめて、昨年10月から宮城県南三陸町に1名の職員を派遣しています。

市議会といたしましては、より市民の皆様の立場にたつ議会とするために、毎年議会報告会を開催し、皆様のご意見を市政に反映するために取り組んでいます。

財政厳しい中ではありますが、市の自主財源確保の期待をいたし、市民の皆様が必要とされるサービス等については、確実に行われているか、厳しく見てまいります。

今年の干支は「巳」です。「巳」という字は、蛇が冬眠から覚めて地上にはい出す姿を表しているとも言われています。「起こる、始まる、定まる」などの意味があり、本年は多久市にとっても、「起こる、始まる」に期待をし、より「大きな飛躍の年」となるように、市議会も市民の皆様への負託に応えていくよう頑張ってまいります。

皆様には、なお一層のご理解ご協力をお願いし、本年も幸多き一年となりますようにお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

